

森林の先進県となれ栃木県  
宇短附中二年 浅石 奈々葉

今年の夏は、本当に暑かった。私は、天気予報の気温を、毎日確認するようになった。また、世界各地の大規模な山火事は、気候変動の影響による乾燥や落雷が、原因であると、いうニュースをみた。多くの森林が竜巻のようにならで燃え尽くされていく映像は、戦火の映像と重なり、森林の非鳴が聞こえてくるよううだった。そして、私は減少していく森林の事を考えるようになった。

夏休みに、私は祖父と、山の中を散歩した。祖父は歩きながら、枝葉を切り落とし、冬に間伐する木に印をつけた。そして、自分の子供のように山を育つ、森と共に生きることの大切さを話してくれた。きりきりとした木漏れ日と、涼やかな風に包まれ、私は森林の呼吸を感じた。森林は生きている。そして、私は森林の呼吸を感じた。森林は生きている。そして、私は森林の呼吸を感じた。森林は生きている。そして、私は森林の呼吸を感じた。

は森林からの多くの恩恵を受け、生かされて、いると改めて思った。人間が、森林に無関心

では、気候変動の炎にのまれてしまう。この無関心をどうにかしなければ。

そこで、今回、森林の未来の為に「家族・ポラス・ガリソン作戦」を考えた。森林を家族に加えたいような、身近な存在にする作戦だ。学習教材として幅広い世代で人気のある人生ゲームに、木のライフサイクルを入れ、森林との共生を考えるものを作る。また、多くの家族を山に招き、名付けた木を植え成長を見守る。森林をドリオン操縦練習場として開放

し、森林にふれあう場を増やす。また、そのドリオンから山林のデータを集め、山の管理に役立てる。市街地は森林と距離があるので、ビルにプロジェクションマッピングを使い森林を映し、視覚的に森林を感じてもらおう。最後に、私たちが住む栃木県。奇しくも「木」という字が使われている唯一の県であり、多くの森林に囲まれている。是非、この作戦を、栃木県の森林から全国に発信し、森林への関心を広めたい。